

千葉市動物公園の動物ワークシートでは、 実物をじっくり見ることで、 新たな発見や気づきが生まれ、 動物の素晴らしさを実感することをねらいとしています。 また、 校外学習の前後での学習にも活用できるよう、 ワークシートごとに先生向けの解説シートもセットになっています。 ぜひ、 ご活用ください。

### 【よりよい学習とするために】

- ・事前学習・事後学習をおすすめします。 校外学習当日だけのやりっぱなしはもったいないです！

事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物公園での活動の目的を伝えましょう。 例) 動物をよく見て、 発見したことを学校に帰ってからまとめるなど、 学習の流れに合わせると、 イメージしやすいです。</li> <li>・興味・関心を引き出す ⇒ 動物公園へ行く楽しみをもたせる 例) 動物公園で使用するワークシートを配り、 使い方の説明だけでなく、 登場する動物について事前に調べたり、 実際の動物を見て観察したいことを話し合うなど、 児童の動物への興味・関心を引き出すと良いでしょう。</li> </ul>
動物公園での活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自ら発見できるように促しましょう。 過度な解説は控えましょう。 自ら発見することで、 印象にも残り、 学習効果も高まります。</li> </ul>
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの内容をふりかえるだけでなく、 発見したことを共有しましょう。 例) 作文、 新聞、 絵など</li> <li>・学校内や周辺で見られる動物や生きものへ視点を向け、 身近な環境での動物の存在を実感できるように学習の場を広げましょう。</li> <li>・国語や理科などの学習で、 動物公園での活動をふりかえるなど授業に組み込みましょう。 実体験に基づいているため、 より深い学びとなります。</li> </ul>

- ・よりよい指導のために、 下見をしていただき、 ワークシートを指導者自らがやってみてください。 先生向けの解説を見ながら、 動物を観察することで、 実感することができます。
- ・動物の動きは、 個体や時間帯、 季節によっても違いますので、 下見のときの様子を紹介しながら、 児童の観察した結果と比較するのも良いでしょう。

### 【ワークシートを用いた活動の際の持ち物】

#### 必ず必要なもの

- ・ワークシート（ホームページよりダウンロードしてお使いください。）
- ・筆記用具（鉛筆、 消しゴム、 色鉛筆など）

#### あると便利なもの

- ・双眼鏡（遠くの動物を観察するのに便利です。）
- ・がばんやクリップボード（ワークシートを挟んで使え、 記入しやすいです。）
- ・夏は暑さをしのげる帽子、 虫除け、 かゆみ止め、 日焼け止め、 飲料水など
- ・冬は防寒着、 手袋（屋外で筆記するため、 手が冷えます）など
- ・雨天時は傘、 レインコート（フード付きがおすすめです）、 長靴など



<http://www.city.chiba.jp/zoo/>

### 【園内でワークシートを使った学習を行う際の注意事項】

- ・他にも多くのお客さんがいますので、 迷惑にならないように気をつけて観察するよう、 徹底してください。 特に展示施設前での座りこみや、 横一列になっての長時間の観察などに気をつけましょう。
- ・暑さ寒さ対策や、 雨対策について、 事前に準備をしてください。 上記の持ち物の項目を参考にしてください。 また、 観察中の日射病や熱射病にも十分注意してください。
- ・風のある日は、 ワークシートが飛ばされないように、 注意をうながしてください。 万が一、 展示場内に入ってしまった場合は、 すぐにスタッフまたは総合案内（TEL：043-252-1111）までご連絡ください。
- ・その他、 ご質問などのお問い合わせは、 総合案内（TEL：043-252-1111）までご連絡ください。